

主 催：愛媛県信用漁業協同組合連合会

第18回「えひめ水産業WEBセミナー」

日 時：令和5年6月27日（火）15：00～16：50

次 第

1. 開会

2. 講演 第一部「持続的成長を巡る環境変化と中小企業のSDGs」

中小企業診断士 高野 祐介 氏

第二部「漁業融資の種類と特徴について」

愛媛県信用漁業協同組合連合会 業務統括本部 融資課長 西川 善郎

3. 閉会

留意事項

1. 受講中は、「カメラ OFF、マイク OFF」にして頂きますようお願い致します。
2. 通信環境によっては、**映像及び音声**が途切れる場合があります。
3. 受講後は、**アンケート**にご協力願います。

※当会ホームページ（オンラインセミナー）に、アンケートの入力ボタンをご準備しております。

4. **本セミナーの受講内容は録画しており、見逃した方に向けて、後日当会ホームページにて配信する予定ですので、ご了承ください。**



浜鯛長（はまたいちょう）

●浜鯛長

愛媛県JFマリンバンクのイメージキャラクター。
愛媛県では瀬戸内の鯛、愛鯛といった名称やキャッチコピーで赤く綺麗な鯛を生産していますので、そこから生まれたキャラクター。

●特 徴

漁師を引っ張る浜の隊長であり、鯛の王様という意味の名称。
漁師の前掛けをイメージした腰巻にある「喜」という文字は、皆様に消費していただいた魚の骨の絵です。

持続的成長を巡る環境変化と 中小企業のSDGs



2023年6月27日
中小企業診断士
高野 祐介

中小企業がSDGs活用で期待できるポイント

①企業イメージの向上

- 「この会社は信用できる」「働いてみたい」
- より多様性に富んだ人材確保に

②社会の課題への対応

- 経営リスクの回避とともに、社会貢献や地域での信頼獲得に

③生存戦略になる

- 今後はSDGs対応がビジネスでの取引条件にも
- サプライチェーン全体での要請拡大も

④新たな事業機会の創出

- 地域との連携、新しい取引先や事業パートナーの獲得、新たな事業の創出など

「持続可能な開発目標(SDGs)活用ガイド(第2版)」(環境省2020年3月)

SDGsの使い方と取組の動機・目的(例)

目的	動機	SDGsの使い方
コスト削減	燃料費や電気代が高騰してきた	従業員の省エネ意識を、SDGsを活用して改善する。活動や製造方法の改善などをして、コストを削減する
経営計画の策定	顧客の幅が狭く、売上も縮小 顧客	SDGsに示された目標から2030年の世の中を意識し、何が必要か従業員みんなで考えてみる 従業員
新製品・新サービスの開発 商品・サービス	取引先からの要請	“持続可能性”を組み込んだ製品やサービスにより付加価値をつける
新規顧客の開拓 顧客	売り上げ増	SDGsに即した調達基準を設定している企業などに営業する
事業パートナーの募集 パートナー	新たな事業をはじめたい	異業種交流会やSDGsに関心のある企業セミナー等に参加しネットワークを構築する

(資料) 環境省「持続可能な開発目標 (SDGs) 活用ガイド [第2版]」より中小企業庁作成

性別、年代別、感染症流行下における消費者の**応援消費**の意向



新型コロナウイルスの影響で困っている事業者の商品・サービスを買いたい・買っている

■ あてはまる

■ どちらかといえばあてはまる

資料：(株)第一生命経済研究所「第3回 新型コロナウイルスによる生活と意識の変化に関する調査(消費行動編)」(2020年9月)

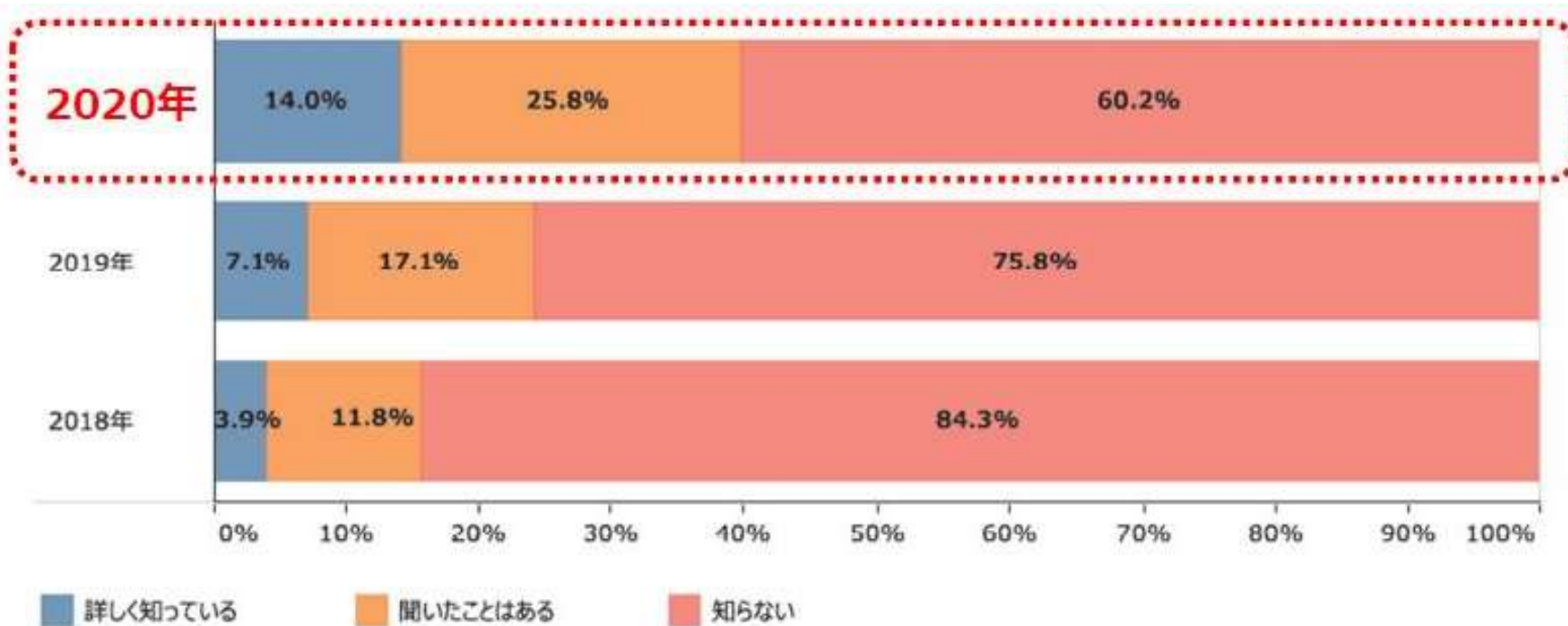
(注)全国の20～69歳の男女3,000名を調査対象としている。性・年代別の有効回答数(n)はそれぞれ300。

日頃の取組と感染症流行下での効果

コロナ禍前からの取組が
効果もたらす



消費者のSDGsへの認知度の推移

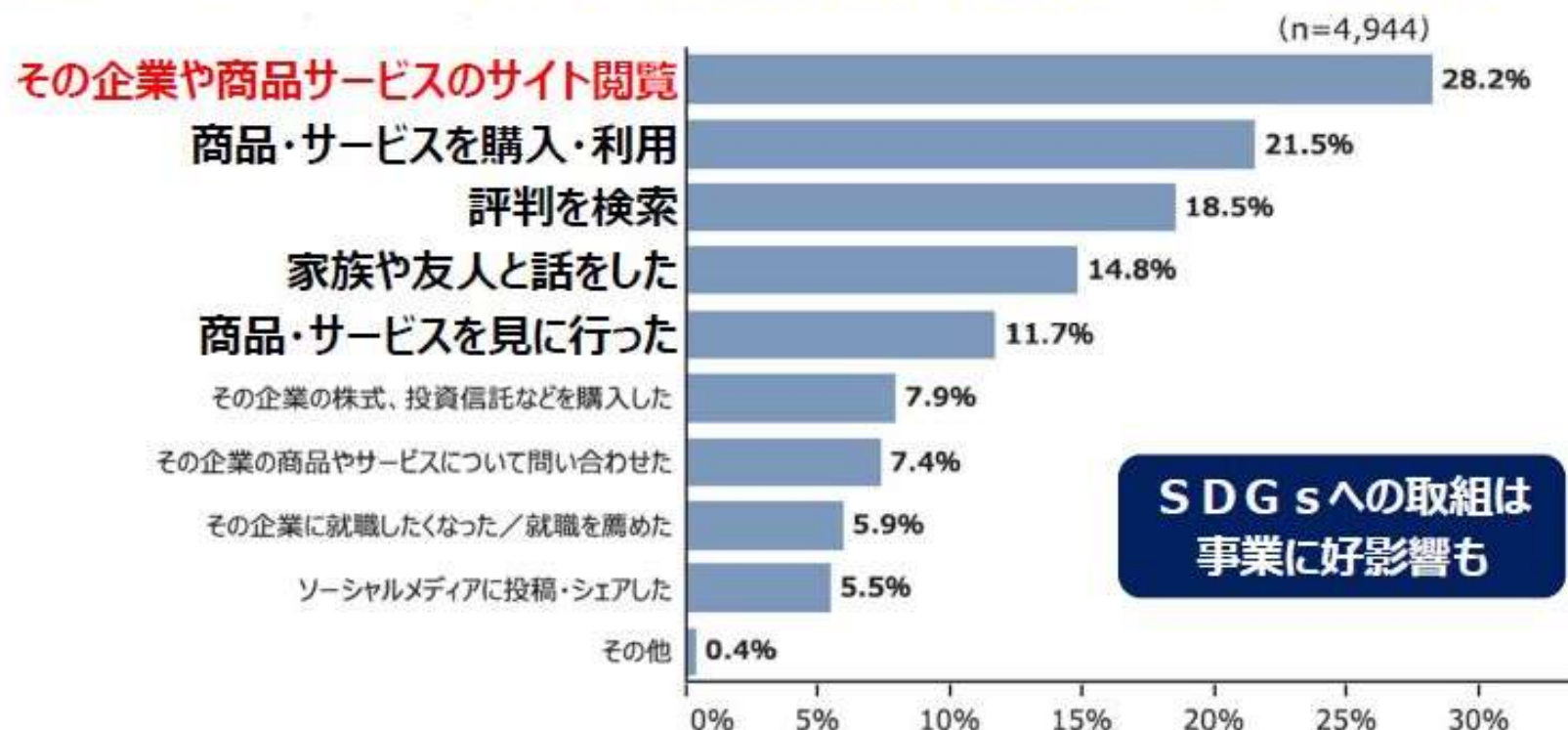


資料：企業広報戦略研究所「ESG/SDGsに関する意識調査」

(注)1.全国の20～69歳の男女個人を対象に調査。

2.回答数(n)は以下のとおり。2018年：n=10,000、2019年：n=10,500、2020年：n=10,500。

企業のSDGsに対する取組を知り、実際に取った行動



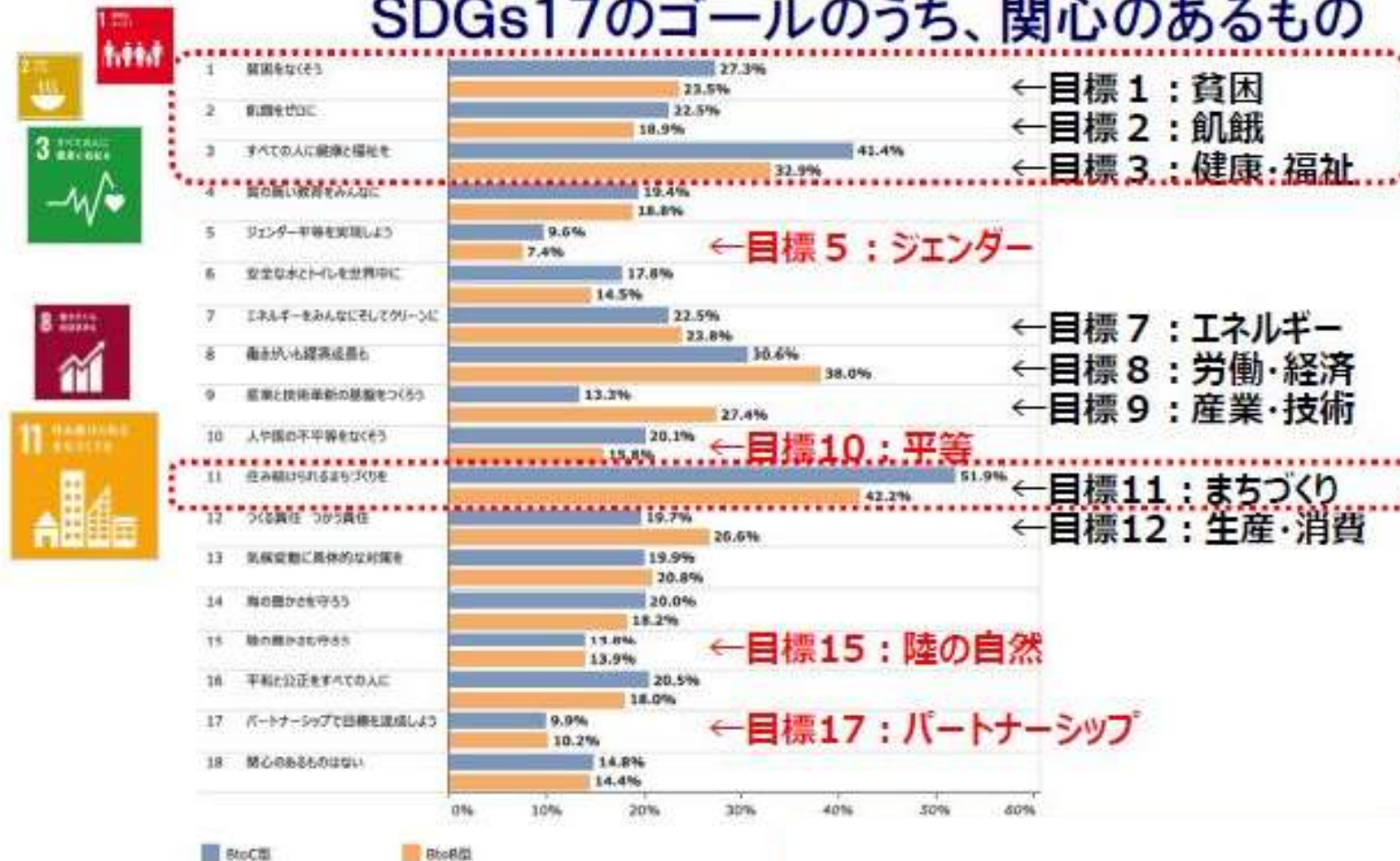
資料：企業広報戦略研究所「ESG/SDGsに関する意識調査」

(注)1. 全国の20～69歳の男女個人を対象に調査。

2. 本調査において、企業のSDGsに対する取り組みを想起できた者について集計している。

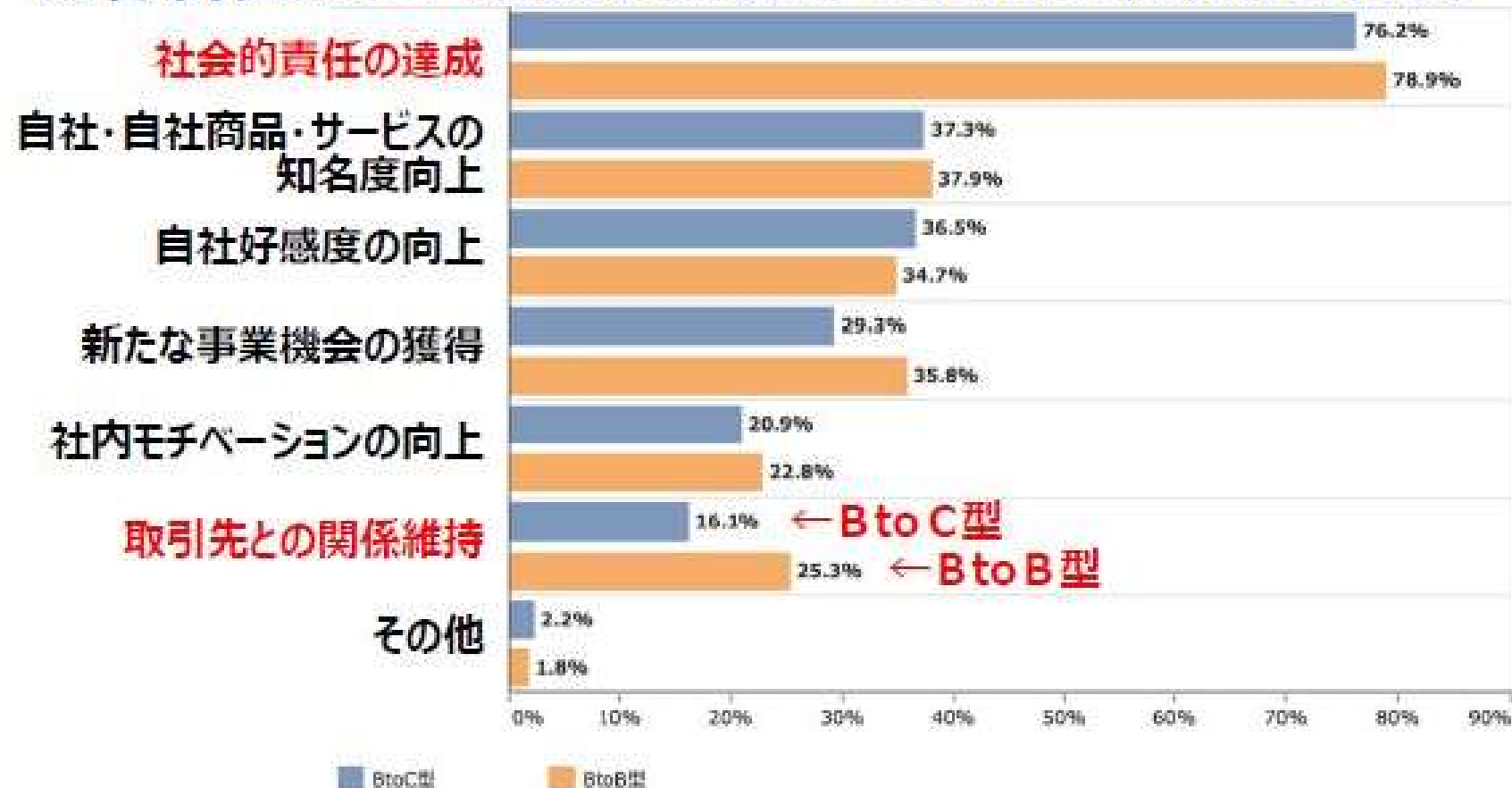
3. 複数回答のため、合計は必ずしも100%にはならない。

顧客属性別、小規模事業者の SDGs17のゴールのうち、関心のあるもの



資料：三章VPAパートナーズコンサルティング(株)「小規模事業者の環境強化への対応に関する調査」
 (注)1. 複数回答のため、合計は必ずしも100%にはならない。
 2. 有効回答数(n)は以下のとおり、BtoC型：n=3,972、BtoB型：n=2,167。

顧客属性別、小規模事業者のSDGsに取り組む目的

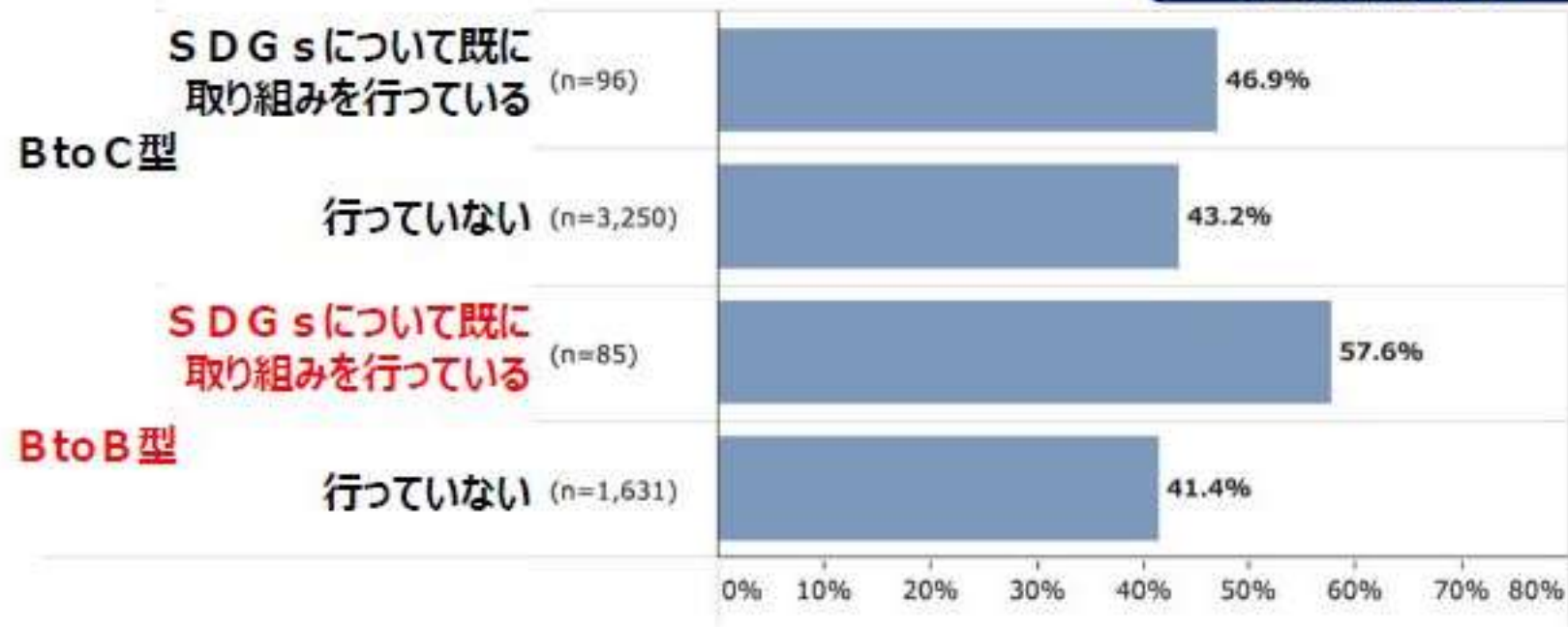


資料：三菱UFリサーチ&コンサルティング(株)「小規模事業者の環境変化への対応に関する調査」

(注)1. 複数回答のため、合計は必ずしも100%にはならない。

顧客属性別、SDGsへの認知度・ 取組状況別、売上高回復事業者の割合

**SDGs取組していると
売上回復が早い**



資料：三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)「小規模事業者の環境変化への対応に関する調査」

(注)1. 感染症流行後(2020年4-9月)に売上高が落ち込んだ事業者を対象に分析。落ち込み幅が同程度の事業者に比べて2020年10-12月期時点の売上高が比較的回復している事業者を「売上高回復事業者」とした。詳細は付注2-2-1参照。

2. 調査時点が2020年11~12月であるため、2020年10-12月時点の売上高は実績値ではなく見通しとなっている点に留意が必要。

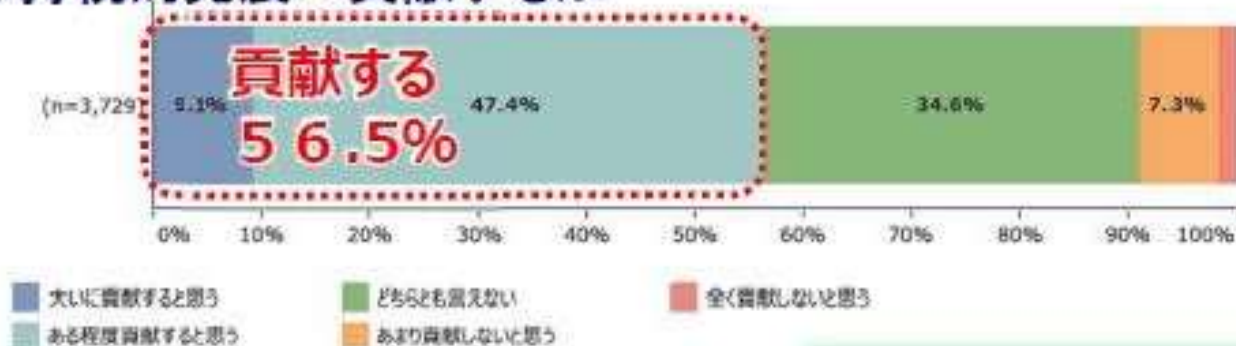
顧客属性別、小規模事業者のSDGsへの取組の目的に対する効果



資料：三越UFJリサーチ&コンサルティング(株)「小規模事業者の環境変化への対応に関する調査」

(注)SDGsへの認知度・取組状況で、「SDGsについて既に取組を行っている」と回答した者について集計している。

<第2-2-52 図> 経営指導員から見て、SDGsへの取組は小規模事業者の持続的発展へ貢献するか



<令和3年度補正予算案>

令和3年度補正予算

事業再構築補助金

事業の再構築に 取り組む皆様へ

事業再構築支援のご案内

事業再構築補助金

✓ 業況が厳しい事業者や事業再生に取り組む事業者向けの特別枠を創設します

✓ グリーン分野での取組を重点的に支援する特別枠を創設します

の御案内です

詳しくは裏面



- * 売上高減少要件を一部緩和するなど使い勝手を向上させます。
- * 業況が厳しい事業者や事業再生に取り組む事業者に対する特別枠を創設します（最低資金枠等も継続）。（最大1,500万円/補助率3/4（中小））
- * グリーン分野への取組に対する特別枠を創設します。（売上高減少要件撤廃、最大1億円/補助率1/2（中小））

* 対象要件：①2020年4月以降の連続する6か月間のうち、任意の3か月の会計売上高が、コロナ以前と比較して10%以上減少していること

（※1以下の場合は撤廃）

②2020年10月以降の連続する6か月間のうち、任意の3か月の会計売上高がコロナ以前と比較して5%以上減少していること

（※2）経営再構築を支援する場合は売上高減少率の計算が可能

③事業再構築計画に沿った事業計画を認定経営革新等支援機関と策定すること 等

* 開始時期：令和4年以降（補正予算成立後、詳細を要覧）

* 対象経費：建物費（※）、機械設備・システム構築費、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウドサービス利用費、外注費、知的財産権等関連経費、広告宣伝・販売促進費、研修費
（一部の経費については上限等の制限あり）

（※）新築に準う一時的な施工期間の経費についても建物費の一部として算入。

* 補助上限額・補助率

申請類型	補助上限額（※1）	補助率
最低資金枠 （最低資金引上げの影響を受け、その後の減価償却額が特に重くのしかかる事業者に対する支援）	500万円、1,000万円、1,500万円（※2）	中小3/4 中堅2/3
回復・再生応援枠 （2）を継ぎ足しが厳しい事業者や事業再生に取り組む事業者に対する支援）		
通常枠	2,000万円、4,000万円、6,000万円、8,000万円（※2）	中小2/3 中堅1/2 （※3）
大規模資金引上げ枠 （多くの従業員を雇用しながら、継続的な資金引上げに取り組むために、一定期間を要し、事業計画（※4）を策定）	1億円	

グリーン成長枠
（研究開発、設備更新又は人材育成を行いながら、グリーン化取組等（※5）を実施）14分野の課題の解決に資する取組を行う事業者に対する支援

中小1億円、中堅1.5億円

中小1/2
中堅1/3

（※1）5,000万円未満（中小）、1,000万円未満（中堅）

お問い合わせ先

中小企業庁 経営支援課 技術・経営革新課（03-3501-1816）

令和3年度補正予算

ものづくり補助金

- * 赤字など業況が厳しい中でも、賃上げ等に取り組む中小企業向けに特別枠を創設し、優先採択や補助率引上げを行います（最大1,250万円、補助率2/3）。
- * グリーン・デジタル分野への取組に対する特別枠を創設し、補助率や上限額を引き上げます（（グリーン枠）最大2,000万円・（デジタル枠）最大1,250万円、補助率2/3）。

* 補助対象：革新的製品・サービスの開発又は生産プロセス等の改善に必要な設備投資等

* 補助上限額と補助率：

申請類型	補助上限額（※1）	補助率
通常枠	750万円、1,000万円、1,250万円	1/2（※2）
回復型賃上げ・雇用拡大枠		2/3
デジタル枠		
グリーン枠	1,000万円、1,500万円、2,000万円	

（※1）従業員規模により異なる （※2）小規模事業者・再生事業者は2/3

グリーン成長枠で補助金（令和3年度補正予算）

①事業再構築補助金

- 売上高要件撤廃、中小1億円、補助率1/2

②ものづくり補助金

- 2000万円、補助率2/3

環境省が「グリーンライフ・ポイント」推進

- 個人の環境に配慮した行動に「グリーンライフ・ポイント」発行。
- 温暖化防止につながる①衣②食③住④循環⑤移動—に関する行動を後押し。
- ポイントは買い物などで利用可能。
- 国内温室効果ガスの **6 割は家庭から。 3 割は食。**
→**家庭部門66%削減を目指す**

食とくらしの「グリーンライフ・ポイント」推進事業

令和3年度補正予算



【令和3年度補正予算額 10,100百万円】



消費者の環境配慮行動に対し企業等がポイントを発行する取組を一気に拡大し、ライフスタイル変革を実現します。

1. 事業目的

環境配慮製品・サービスの選択等の国民の環境配慮行動に対し企業、地域等がポイントを発行する取組を一気に拡大することにより、2030年温室効果ガス46%削減、食ロス半減、ワンウェイプラ25%排出抑制等のため必要なライフスタイル転換を加速するとともに、環境配慮製品・サービス等の市場拡大によるコロナ禍からのグリーンリカバリー、地方活性化を促進する。

2. 事業内容

我が国の温室効果ガス排出量の約6割が衣食住を中心とした家計関連であり、2030年46%削減、家庭部門66%削減に向け、脱炭素型のライフスタイルへの転換が必須。また、循環経済の観点からは、循環基本計画等に定める2030年食ロス半減、ワンウェイプラ25%排出抑制等の目標達成が必要。2030年に向け残り9年しかない中、いずれも大幅な削減が求められており、ライフスタイル転換施策の強度を格段に上げる必要がある。そのためにポイントが有効であることがこれまでの環境省事業等で実証されている。

このため、本事業により、環境配慮製品・サービスの選択等の消費者の環境配慮行動に対し新たにポイントを発行しようとする企業や地域等に対し、企画・開発・調整等の費用を補助することにより、環境配慮ポイント発行の取組を一気に拡大する。ポイント発行の効果についてはデジタル技術の活用により見える化・定量化し、顕微鏡な手法により効果を検証するとともに、原則として支援後3年間の環境配慮ポイントの発行継続を求める。本事業により脱炭素・循環型のライフスタイルへの転換を加速するとともに、環境配慮製品・サービスの市場拡大を通じたコロナ禍からのグリーンリカバリー、地方活性化を促進する。

3. 事業スキーム

- 事業形態 間接補助事業（全国規模：補助率1/2（上限3億円）、地域規模：補助率2/3（上限1億円）、委託事業（効果検証）
- 補助対象・委託先 民間事業者・団体、地方公共団体等
- 実施期間 令和3年度

4. 事業イメージ

対象となる「グリーンライフ」のイメージ



- ・地産地消、旬産旬消の食材利用
- ・販路開拓関連の食品の購入
- ・食べ残しの持帰り（mottECO）など



- ・高機能省エネ機器への取換え
- ・節電の実施
- ・再生エネルギーへの切替え など



- ・プラ製箸でスプーン・ストローの受取辞退
- ・ばら売り、簡易包装商品の選択
- ・リユース品の購入
- ・リペア(修理)の利用 など



- ・ファッションロス削減への貢献
- ・サステナブルファッションの選択
- ・着のサブスクの利用 など



- ・カーシェアの利用
- ・シェアサイクルの利用 など

※具体的にどのような場合にグリーンライフ・ポイントを発行するかは、各企業・自治体等の取組による

お問い合わせ先： 環境省地球環境局地球温暖化対策課脱炭素ライフスタイル推進室

電話：0570-028-341

SDGs (エスディーゼーズ) とは世界の「行動計画」

- ① 「**Sustainable Development Goals**」
(持続可能な開発目標) の略称。
- ② 2015年9月に国連加盟全193カ国の賛成で採択。
地球上の「**誰一人取り残さない**」を誓う。
- ③ 2030年までの行動計画。**17目標**と、それらを達成するための具体的な**169のターゲット**。



SDGsの17ゴール

1 貧困をなくそう



1. 貧困をなくそう

あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ

2 飢餓をゼロに



2. 飢餓をゼロに

飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

3 すべての人に健康と福祉を



3. すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

4 質の高い教育をみんなに



4. 質の高い教育をみんなに

すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

5 ジェンダー平等を実現しよう



5. ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る

6 安全な水とトイレを世界中に



6. 安全な水とトイレを世界中に

すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

SDGsの17ゴール

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに

すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

8 働きがいも
経済成長も



8. 働きがいも 経済成長も

すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



9. 産業と技術革新 の基盤をつくろう

強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

10 人や国の不平等を
なくそう



10. 人や国の 不平等をなくそう

国内および国家間の格差を是正する

11 住み続けられる
まちづくりを



11. 住み続けら れるまちづくり を

都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする

12 つくる責任
つかう責任



12. つくる責任 つかう責任

持続可能な消費と生産のパターンを確保する

SDGsの17ゴール

13 気候変動に
具体的な対策を



13. 気候変動に具 体的な対策を

気候変動とその影響に立ち向
かうため、緊急対策を取る

14 海の豊かさを
守ろう



14. 海の豊かさを 守ろう

海洋と海洋資源を持続可能な
開発に向けて保全し、持続可
能な形で利用する

15 陸の豊かさも
守ろう



15. 陸の豊かさも 守ろう

陸上生態系の保護、回復および持
続可能な利用の推進、森林の持続
可能な管理、砂漠化への対処、土
地劣化の阻止および逆転、ならび
に生物多様性損失の阻止を図る

16 平和と公正を
すべての人に



16. 平和と公正を すべての人に

持続可能な開発に向けて平和で包
摂的な社会を推進し、すべての人
に司法へのアクセスを提供すると
ともに、あらゆるレベルにおいて
効果的で責任ある包摂的な制度を
構築する

17 パートナースhipで
目標を達成しよう



17. パートナ シップで目標を達 成しよう

持続可能な開発に向けて実施
手段を強化し、グローバル・
パートナーシップを活性化す
る

環境保護と社会課題解決と経済成長と

- ① 1972年：国連人間環境会議（ストックホルム会議）
 - 市民広場、環境広場
 - 「人間環境宣言」「環境国際行動計画」採択
 - 国連環境計画（UNEP）設立
- ② 1987年：環境と開発に関する世界委員会（ブルントラント委員会）（日本提案で設立）
 - 「持続可能な開発」＝将来世代のニーズ充足を妨げることなく、現世代のニーズを満たすような開発
- ③ 1992年：国連環境開発会議（地球サミット）（ブラジル・リオデジャネイロ）
 - 「どうやって直すのか分からないものを、壊し続けるのはもうやめてください」
（12歳の少女セヴァン・スズキさんの「伝説のスピーチ」）
- ④ 1997年12月：第3回気候変動枠組条約締約国会議（COP3）
 - 「京都議定書」＝2008年～2012年の温室効果ガス抑制目標が1995年比最低5%削減（日本6%削減）
- ⑤ 2000年：国連ミレニアムサミット
 - 「ミレニアム開発目標」（MDGs）
- ⑥ 2002年：持続可能な開発に関する世界首脳会議（第2回地球サミット）（南アフリカ）
 - 「持続可能な開発のための教育（ESD）」の10年「提唱」（小泉首相＝当時）
- ⑦ 2015年9月：国連総会
 - 「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」（SDGs）
- ⑧ 2015年11月～12月：第21回気候変動枠組条約締約国会議（COP21）
 - 「パリ協定」＝加盟全196カ国が参加、途上国を含む削減目標。
 - 気温上昇を産業革命前比で2度未満に、1.5度未満を目指す。日本2013年比温室効果ガス26%削減

環境保護と社会課題解決と経済成長と

① 1972年：国連人間環境会議（ストックホルム会議）

- 市民広場、環境広場
- 「人間環境宣言」「環境国際行動計画」採択
- 国連環境計画（UNEP）設立

② 1987年：環境と開発に関する世界

- 「持続可能な開発」= 将来世代のニ

日本主導・提案・提唱も多い

設立
開発

③ 1992年：国連環境開発会議（地

- 「どうやって直すのか分からないもの

（12歳の少女セヴァン・スズキさんの「伝説のスピーチ」）

④ 1997年12月：第3回気候変動枠組条約締結国会議（COP3）

- 「京都議定書」= 20

目標が1995年比

途上国中心の
社会課題

先進国中心の
環境規制

⑤ 2000年：国連ミレニ

- 「ミレニアム開発目標」

⑥ 2002年：持続可能な開発に関する世界首脳会議（第2回地球サミット）（南アフリカ）

- 「持続可能な開発のための教育（ESD）」の10年（小泉首相=当時）

⑦ 2015年9月：国連総会

- 「我々の世界を変革する：持続可能な開

⑧ 2015年11月～12月：第21回気

- 「パリ協定」= 加盟全196カ国が参加、途
- 気温上昇を産業革命前比で2度未満に

途上国と先進国双方が
環境・社会・経済でバランス

企業を取り巻く環境変化

- ① 1956年：経済同友会「経営者の社会的責任の自覚と実践」
 - 二大政党時代（55年体制）、議会政治の健全発達のための経済環境整備へ
 - 「経営も…全社会から信託されるもの」
- ② 1980年代：反アパルトヘイトで南ア産品に不買運動
- ③ 1992年6月：国連環境開発会議（地球サミット）（ブラジル・リオデジャネイロ）
- ④ 1992年7月：マレーシアの日系合弁レアメタル工場で操業中止命令
 - 現地高裁が猛毒訴訟で
- ⑤ 1996年：「ISO14001」（環境マネジメントシステムに関する国際規格）
- ⑥ 1997年：児童労働・途上国労働環境問題でナイキに不買運動
- ⑦ 2000年：国連ミレニアムサミット「ミレニアム開発目標」（MDGs）
- ⑧ 2000年：国連グローバル・コンパクト（UNGC）発足
 - 「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」に関する10原則（2004年「腐敗防止」追加）
 - 企業に自主的署名を呼びかけ、46社が署名
- ⑨ 2001年：米エンロン社による粉飾決算事件
- ⑩ 2006年：国連責任投資原則（PRI）
- ⑪ 2008年9月～：リーマンショック
- ⑫ 2010年11月：「ISO26000」（社会的責任に関する手引き）
- ⑬ 2011年1月：マイケル・ポーター氏ら「CSV」提唱
- ⑭ 2011年6月：ビジネスと人権に関する指導原則（国連人権理事会）
 - 人権に関する国家の義務と企業の責任
- ⑮ 2013年4月：ラナ・プラザ縫製工場崩落事故（バングラデシュ）
 - 8階建て商業ビル、5つの縫製工場、1000人以上が犠牲に
- ⑯ 2015年9月：国連総会「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」（SDGs）
- ⑰ 2015年11月～12月：第21回気候変動枠組条約締約国会議（COP21）「パリ協定」

E：環境課題

S：社会課題

G：ガバナンス

「人権」が重要テーマ

SDGsは「本業でのCSR」「CSV実現」のツール

「Q&A SDGs経営」(笹谷秀光著)より



「本業でのCSR」 ≡ 「CSV」 ≡ 「SDGs」



17ゴールの関係(例:SDGsウェディングケーキ)



Azote Images for Stockholm Resilience Centre57

持続可能な開発ソリューション・ネットワーク(SDSN)発表

<https://sdgindex.org/>

日本の進捗状況 (2021年)

世界 **18** 位 / 165カ国

① 目標達成済み

② 一部課題残る

③ 重要な課題残る

④ 多くの課題残る



全国に広がる「SDGs未来都市」

SDGs 未来都市所在地

別紙5



(内閣府 地方創生推進室)

中小企業こそ SDGs達成の担い手に



でもSDGsって…(事業者の声)

①大企業のもので
は？



②中小企業には
余裕がない！



③中小企業には
大したメリットが
ない！



④既に精いっぱい
頑張っている！



誤解

中小企業こそSDGs達成の担い手

①**確かに**目立つのはグローバル企業、大企業

②「環境に優しい経営」
「従業員を大切にする経営」
「地域に根付いた経営」…

→ **SDGsにマッチ**

③中小企業こそSDGs達成の担い手に

→ **中小企業診断士のあり方**

SDGs「取り組んでいる」「取り組みたい」が4割

「SDGsに関する企業の意識調査」
(2021/07/14帝国データバンク)

- ① 自社におけるSDGsへの理解や取り組みについて、
「意味および重要性を理解し、**取り組んでいる**」
「**取り組みたい**と思っている」が計**39.7%**に。
(昨年調査では24.4%)

- ② 中小企業も**31.6～36.6%**。(同19.0～22.1%)

SDGs に対する企業の意識 ～規模別～



SDGsに取り組むメリット

①人材が活性化

- 従業員活性化
- 若手人材採用
(=従業員が幸せに)



②取引が安定化

- 信頼度アップ
- 調達・取引安定化
- 受注増



③資金調達 ↗

- 優遇商品が次々に



④商品・サービス ↗

- ファン増加
- 販路拡大・売上増大
- 価格競争回避



滋賀銀行がSDGs目標達成で金利優遇融資

SHIGA BANK
金融機関コード：0167

サイトマップ | お問い合わせ | 店舗・ATMのご案内 | English | サイトについて

法人・個人事業主のお客さま
融資銀行について
株主・投資家の皆さま
採用のご案内

法人・個人事業主のお客さま

| サステナビリティ・リンク・ローン ～持続可能な社会の実現に向けて～

お客さまのSDGやESGの取組状況と融資条件が連動し、積極的に取り組むことで優遇される場合に金利等の融資条件を優遇します。
お客さまのサステナビリティ経営をサポートし、従業員増進と持続可能な社会の実現を両立にめざす取組商品です。



『しがさん』サステナビリティ・リンク・ローンの融資スキーム

```

    graph LR
      A[評価機関  
株式会社信用リスク情報センター（株）  
株式会社しがさん経済文化センター] --> B[セカンドオピニオン]
      B --> C[ご融資契約・返済開始の認定]
      C --> D[取組状況のご報告・公表]
      D --> E[レポートニング]
      F((お客さま)) <--> C
      G((出資銀行  
K3netun)) <--> C
  
```

主な特徴

- 資金使途はグリーン事業に限定しません。
- 取組目標値について経過期間の意見を取扱います。

2020/10/30現在

2020/10/01～滋賀銀行

SDGsと親和性が高い中小企業

→ トップの**意識変革**と組織の**行動変容**が重要

① **経営理念を重視**している（これから策定する）

- 中小企業家同友会
 - 経営指針成文化活動
- 日本青年会議所

経営大学校に学ぶ
事業者も

② **組織的改善活動**の風土

- 3 S、5 S活動
 - 「安全な職場作り」「快適な職場作り」「効率的な職場作り」
- 環境マネジメント、ISO、エコアクション21
- 健康経営

③ 委員会・チーム活動

従業員のためのSDGs ～中小企業での事例～



株式会社 大川印刷 様（横浜市）

- ① 創業130年の印刷会社。
- ② 医薬品説明書、食品包装紙を印刷する中、衛生面・環境面を重視した経営に。
 - 古紙再生紙を利用しているオフセット印刷機
 - LEDでUVインキを乾燥させるLED-UV印刷機
 - どの印刷機も有機溶剤を使わない
 - ゼロカーボンプリント
- ③ **従業員主導**でプロジェクトチーム立ち上げ、思い思いの活動を自発的に。
 - 再生可能エネルギー100%
 - ゼロ・エミッション（廃棄物ゼロ）
- ④ CSRとは「**地域や社会に必要とされる人と企業**を目指す取り組み」。
- ⑤ SDGs活動で、自分たちが必要とされていることを認識し、**従業員が元気になった。**

「苦しいからやっている」

石坂産業株式会社(埼玉県三芳町)

- **産業廃棄物処理業**

(廃プラスチック類、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、紙くず)

- 処理施設プラントを屋内化して**全天候型**に。
- 電動重機、地中熱空調、蓄電池で災害時への地域給電。
- →**リサイクル率98%**
- 不法投棄相次ぐ近隣の山林でボランティアでゴミ拾い。持ち主から管理を依頼され、**里山の保全・再生**へ。
- 東京ドーム4個分の緑地、里山保全。
- 来場者年間4万人。

人間の経済活動が止まれば地球環境は改善する…

→**経済活動を行いながら地球環境が良くなれば**

「燃えるインターンシップ」(2021/08/23~09/03)

- ①都内下町の**中小製造5社**が「**SDGs × 突破力**」をテーマに**合同インターンシップ**
- ②目的：若者と中小製造業の効果的な接触機会を創出する

1 社会課題への
「関心」を「行動」へ



関心はいつまでも関心のまま
この機会に行動してみませんか？

2 課題解決を通して
「突破力」を身につける



現状と理想の差分を把握して
提案を考えることができる

3 就活で差をつける



人よりも早く行動する
それだけ多くの経験を積める

「燃えるインターンシップ」大満足

学生と製造業の**効果的な接触機会**を創出する

① 学生の満足度

- 満足度**100%**
- 目標達成率90%以上

これを機に女子トイレ
完備した企業も

② 企業の満足度

- 就職先の候補に入る学生が増加
「規模は関係ない」15%増、「製造業ない」5%減、
「中小製造業ない」が10%減

③ 継続的なつながり

- 長期インターンへの誘導**25%**
- 大学の単位認定プログラムとして認定も

取り組む企業の共通点は…

- ① 経営理念、経営指針が明確
- ② **トップの意志**が明確
- ③ 中長期ビジョン（2030年の自社、2050年…）
- ④ 幅広いステークホルダーを意識（従業員／顧客・消費者／取引先／投資家・株主／債権者／地域社会／社会／政府・自治体…）
- ⑤ 本業を通じて、**社会・環境・経済**のバランスが取れた活動（目標→実施→評価まで）
- ⑥ 委員会・プロジェクト活動で**自発的な取り組み**へ（従業員の自発性を生かした運営）

→ **トップの「覚悟」が重要！**

もっと学びたい方へ「SDGs等企業事例」

① 株式会社大川印刷（横浜市）

- https://www.okkawa-inc.co.jp/about_us/
- <https://www.okkawa-inc.co.jp/tag/sdgs/>
- 衛生面、環境面を重視した印刷から、CSR、SDGs重視の経営に力を入れる老舗印刷会社。
- 「SDGsアワード」にも輝いており、国や行政などのイベントでもよく登場されています。

② 石坂産業株式会社（埼玉県三芳町）

- <https://ishizaka-group.co.jp/>
- https://www.youtube.com/watch?v=UnRoIvV19_0
- ごみをごみにしない社会「ZERO WASTE DESIGN」をビジョンに掲げ、リサイクル率100%を目指す産業廃棄物中間処理業者。
- 地域との調和、環境に配慮した操業を重視しており、不法投棄で荒廃した山林を預かって里山を再生、環境教育活動にも力を入れていらっしゃいます。（工場見学コースあり）

③ 燃えるインターンシップ（東京都・中小製造 5 社）

- <https://taitoijima0106.wixsite.com/moeruinternship>
- 都内中小製造 5 社が2021年夏、「SDGs×突破力」をテーマに2週間の合同インターンシップを開催、大学生16名が各社に分かれて、工場見学やヒアリングなどを行った上で、各社へのSDGs提案を取りまとめ、最終日にコンテスト形式で発表しました。
- 製造業の現場を体感し、SDGsを考える 企業と学生が共に“燃える”、新しい形のインターンシップ（2021/11/22順天堂大学「GOOD HEALTH JOURNAL」）
- <https://goodhealth.iuntendo.ac.jp/social/000237.html>